

玉葱葉切り機実演会が開催されました

令和2年6月2日、JA茨城むつみ玉葱研究会が主催する葉切り機実演会が境町現地圃場で開催され、生産者や関係機関約40名が参加しました。この玉葱研究会は加工業務用タマネギの契約栽培に取り組んでいます。

今回実演された葉切り機は、地面に対して水平に2枚の回転刃が並んだ構造をしており、25馬力以上のトラクターへの装着が想定されています。稼働時は倒伏したタマネギの茎葉を持ち上げカットし、カットされた茎葉は処理機内で細断され畝脇に排出されます。4条植えに対応していることから、処理速度の目安は10aあたり1時間程度と、これまでの処理機より作業スピードが向上しています。参加者からは適切な処理時期等についての質問が多く出され、活発な情報交換が行われました。

当産地の加工業務用タマネギ栽培は3作目です。前作からセル育苗と全自動定植機を導入したことで計画的に作業が進み、生育も順調で、まもなく収穫時期を迎えます。



令和2年6月9日 坂東地域農業改良普及センター 札 周平（成長産業）